

BROWN 
BROTHERS
HARRIMAN



2020

アニュアルレポート

Connected & Committed



自然界や建築構造に広く見られる六角形は、強さと効率性に優れた形状として知られています。2020年、BBHの従業員は団結力と効率性を発揮し、素早く在宅勤務への移行を成し遂げ、仕事と家庭を両立し、私たち全員が世界的なパンデミック下で直面することとなった予期せぬさまざまな課題に立ち向かいました。そしてその間、当社は、お客様に比類なきサービスを提供し続けてきました。当社は一年前よりも強くなった一方で、お客様に対する、そして従業員同士の間における私たちの“connected & committed”という姿勢には何ら変わりはありません。

目次

2	マネージング・パートナーからのメッセージ
6	インベスター・サービス部門
12	プライベート・バンキング部門
18	インベストメント・マネジメント部門
22	企業文化
28	パートナーおよび マネージング・ディレクター

マネージング・パートナーからのメッセージ



BILL TYREE
マネージング・パートナー

昨年、皆様に私からのメッセージをお届けしたのは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックがまだ始まったばかりの頃でした。この世界的な危機がこれほどの長期間にわたって猛威を振るい、現実面から感情面まで幾多の課題をもたらすことを予測できた人はいなかったでしょう。このパンデミックは人々の個人的な日常に影響を及ぼしています。自ら体調を崩した人もいれば、大切な人を失った人もいます。そして先の見えない不安に誰もが苦しんできたことでしょう。今、ワクチンが利用可能となり、世界中で接種が始まったことで、パンデミックの収束と平常時への復帰がようやく視野に入ってきたように思われます。

“COMMITTED AND CONNECTED”

当社は当初から、信頼できる事業継続計画（BCP）を用意し、即時の発動に備えることによって、強力な態勢でこの危機に臨んできました。これにより、2020年3月から4月にかけての波乱相場に立ち向かい、お客様を支えるとともに、過去に例のない世界的なビジネスの混乱の間も切れ目なくプロダクトを提供することができました。しかし、途切れることなく業務を遂行する点を優先したこともあり、リモート勤務を中心とする環境への移行は容易ではありませんでした。

その移行にあたっては、オフィス以外の場所では遂行できない業務を担当する、200人を超える熱心な従業員たちの協力が不可欠でした。これらの従業員たちはオフィスへの出勤を続け、事業継続に欠かせない「血液」として、増加するリモート勤務者、会社のシステム、そしてオフィス内の業務を繋げる役割を果たしてくれました。この間、当然ながら従業員たちは、リモート勤務者もオフィス出勤者も、業務の遂行、子どもや両親の世話、自分自身の健康管理、その他多くの課題に目配りしてきました。これには、独創性を持ち、創意工夫し、そして以前と変わらず繋がることで業務成果を生み出すという決意が必要でした。2020年に当社が途切れなく前向きな姿勢で比類なきサービスを提供できたことは、すべてのBBH従業員の功績です。

ビジネスへのコミットメント

新型コロナウイルス感染症のパンデミックに起因する課題への対処以外にも、当社は2020年に生じた社会的・政治的な緊張の影響を強く受けました。例えば、物議を醸した米国の大統領選挙と政権移行、社会的正義を目指す運動の広がり、そして世界的な低金利環境下における銀行業界の採算性の問題等が挙げられます。こうした厳しいビジネス環境や社会の情勢下において、当社は2020年に極めて優れた業績を上げることができました。部門別に見ると、インベスター・サービス部門は、顧客預金勘定の規模の大きさから、低金利環境の影響を特に強く受けました。積極的な有価証券のポジション調整が行われ、また為替相場のボラティリティが高まったため、為替取引利益が好調だったことが、金利収入の減少を一部埋め合わせました。インベストメント・マネジメント部門は、債券戦略への資金流入が強く、2020年下半期に特筆すべき業績を上げました。プライベート・バンキング部門も、過去最高に達した運用資産（AUM）と、過去に例のないローンコミットメントの増加や投資枠の利用の恩恵を受け、これまでで最高

“

お客様に提供するサービスの質は、卓越性（エクセレンス）へのコミットメント、そして従業員同士の互いへの献身度合いに正比例すると私たちは確信しています。2020年には、こうしたコミットメントと繋がりを保つことの重要性がかつてなく高まりました。加えて、臨機応変な仕事のやり方を採用する能力の重要性も同様に高まりました。

の年を記録しました。2020年下半期には、米国与党の交代をめぐるさまざまな憶測から、当社のトラスト・カンパニーはウェルス保全戦略の策定と実行に活発に取り組みました。さらに今年、リモート勤務者を適切に配置し、98%におよぶ従業員がオフィス外勤務となるリスクを管理するにあたっては、アドミニストレーションおよびシステム部門が特に重要な役割を果たしました。

あらゆる向かい風や困難をよそに当社は、インフラやアプリケーションの開発に関する健全な長期的投資計画を継続しました。また、私たちが持つビジネスの専門知識や知見を紹介し、最先端のデジタル体験をお客様に提供することを目的として、bbh.com ウェブサイトを改善し、2020年に新たに立ち上げました。新サイトには、全面的にデザイン変更されたbbhfunds.com および bbhluxfunds.com ポータルが含まれています。これらは、BBHがスポンサーを務めるファンドの情報を、既存および見込み投資家の皆様にお知らせする直感的ツールとなることを意図しています。最後に、当社は引き続きサイバーセキュリティを最優先事項として掲げ、ハッキング被害を受けた競合他社の事例を十分に把握しながら、自社のシステムとデータを不正侵入から守ることに努めています。

相互の繋がりコミットメント

個人的な成功と会社としての集団的な強みには健康と幸福が重要であるとの認識に基づき、当社はパンデミックの期間を通じて、お互いのストレスを軽減し、前向きな思考を促すための新たな方法を探求しました。福利厚生プログラム「Thrive」では、トレーニング、従業員教育イベント、およびオープン対話シリーズ「#Let's Talk」を用いた身体面、感情面、経済面での幸福が驚くべき支持を集めました。

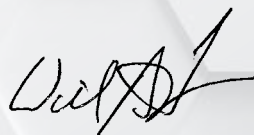
また、2020年に私たちは、米国のみならず世界中で大きなうねりとなった「ブラック・ライブズ・マター」運動に耳を傾け、学びました。これは私たちの多くにとって、ジェンダーおよび人種の多様性を十分に反映した従業員と経営陣の登用という当社の優先事項を振り返り、新たなコミットメントを促す警鐘となりました。当社は2020年8月、私たち自身が目に見える形で前進することを目的として、社内におけるインクルージョン、公平性、実践の推進という集団的な目標に対する一連のコミットメントを呼び掛けました。その結果、当社は教育プログラムを立ち上げ、人種の不平等や実際の体験に関する対話を促す一方で、従業員が互いに信頼し合える安全な場所を提供しました。また、年に2日間（文化に関わる祝日が1日、社会奉仕活動が1日）の有給休暇を追加で付与し、従業員が自身のバックグラウンドやアイデンティティを誇ることでできる時間をより多く提供することとしました。

私たちは、従業員が主導するBBHアフィニティ・ネットワーク・コミュニティ (BBH Affinity Network Communities : BANC) や各部門のインクルージョン委員会と協力して、民族およびジェンダーの登用に関する5年目標を設定するとともに、進捗状況をより適切に把握し、測定できるよう、セルフ・アイデンティティ・プログラムを拡大しました。この新たなレンズを通じて私たちは、従業員候補の多様性を高める追加措置を講じ、登用が進んでいない層のプロフェッショナルにはキャリア向上に向けたより充実したサポートを提供し、地域社会のパートナーとのさらなる協力によって私たちを取り巻く世界の根強い課題への解決策を策定することが可能になりました。

こうした変革からは、すでにプラスの相乗効果が見え始めています。これらのステップの導入以降、昨年と比べて女性の採用は4.6%、有色人種 (POC) の採用は1.6%増加しました。また、今年のオフィサーへの昇進は昨年と比べて1.2%増加し、女性は1%、POCは5%の増加でした。とはいえ、インクルージョンのあらゆる側面にわたって、成すべき仕事は常に残されています。私たちは耳を傾け、理解し、行動するための新たな方法を今後も編み出し続けます。

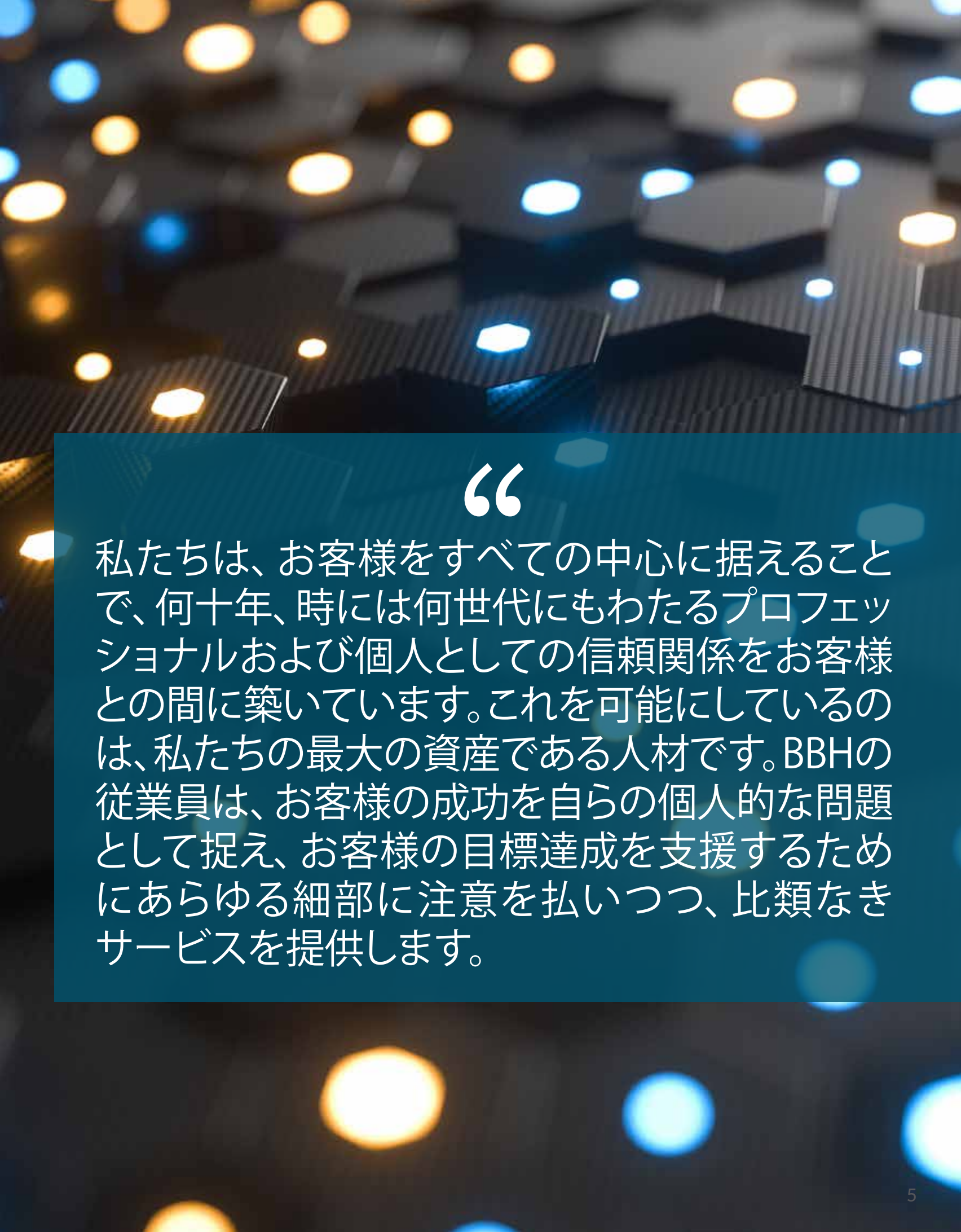
未来へのコミットメント

私たちのビジネスと企業文化は、2020年にあらゆる面で試練を受けました。しかし、それらの課題の存在にもかかわらず、私は当社の従業員が正しいことを成すために立ち上がり、個人的な犠牲を払い、私たちの本領である規律と卓越性 (エクセレンス) をもってお客様にサービスする様子を数え切れないほど目にしてきました。私たちは当社ビジネスの長期にわたる根本的な強みを確信しており、この困難な年からの回復をこれまでよりさらに良い形で、かつ力強く成し遂げることに自信を持っています。未来に何が待ち受けていようとも、私たちは、世界一流のプロダクトとサービスを継続的に提供することでお客様の成功をサポートするという当社のミッションの達成に向かって、“connected & committed” の活動を推進してまいります。





Philip Chiang
インベスター・サービス部門バイス・プレジデント



“

私たちは、お客様をすべての中心に据えることで、何十年、時には何世代にもわたるプロフェッショナルおよび個人としての信頼関係をお客様との間に築いています。これを可能にしているのは、私たちの最大の資産である人材です。BBHの従業員は、お客様の成功を自らの個人的な問題として捉え、お客様の目標達成を支援するためにあらゆる細部に注意を払いつつ、比類なきサービスを提供します。

インベスター・サービス部門

概要

BBHのインベスター・サービス部門は、世界の主要運用会社や金融機関を対象とし、幅広い資産クラスおよび投資戦略をサポートするグローバルな資産管理サービスの提供を専門としています。

当社のあらゆる行動の中心にあるお客様が重視しているのは、「成長とパフォーマンス、業務の効率化、オーバーサイトと管理」という3つの優先課題です。私たちは、柔軟性と強靱性を備えた業務モデルによりこれらの目標を達成し、お客様の成功に貢献するよう努めています。

サービス、テクノロジー、スペシャリストとしての専門性

過程は結果と同じように重要であり、「どのようにして成し遂げるかが大切である」というのが当社の考えです。サービス・パートナーとしてお客様から常に高い評価をいただく当社は、限られた数のお客様に注力することで、卓越したサービスを実現しています。私たちが目指すのは、グローバルに繋がり協働するサービス・パートナーとして、専門家のノウハウとカスタマイズされたソリューションをお客様に提供することです。

当社は、長年にわたり革新的なソリューションを開発してきたテクノロジー・リーダーとして、お客様が直面する最も複雑な業務上の課題の解決を支援します。当社のデジタル&データのソリューションは複数の業務モデルやプロバイダーを横断する形で機能し、お客様がデータを集約して実際の行動に繋がる方針を導き出せるようお手伝いします。単一の統合型グローバル・テクノロジー・プラットフォームにより、私たちは新たな機能の投資、開発、導入を効率的に進めることができます。

2020年のハイライト

当社ビジネスは2020年を通じて安定し、お客様へ良好なサービスを保つことができましたが、過去に例のないコロナ禍において多くの課題がもたらされました。

当社は、テクノロジーへの投資と、個人として、また各チーム集団として強い意思をもって立ち向かい、誇るべき成果を得ることができました。この困難と変化の時期を通じて、私たちはお客様からいただいた感謝の言葉、変わらぬご支持、そして自分たちが集団として生み出したさまざまな成果を誇りに思っています。また当社は、「例外なき卓越性（エクセレンス）」をお客様に提供しつつ、新規案件の獲得、新しいお客様のオンボーディング、ファンド設定のサポート、重要な戦略的投資の実行を継続してきました。

これらの要因と、好調な為替取引、記録的な取引処理量、規律ある経費管理により、インベスター・サービス部門は、世界的なゼロ近辺の低金利という強い向かい風の中で、2020年の計画をわずかに下回る水準の業績で一年を終えました。

重要な成果

「成長とパフォーマンス」のサポート

2020年に私たちは、グローバル・コネクティビティを高め新たなストラクチャーをサポートすべく、ETFのサービスプラットフォームを強化しました。ETFコネクト™は、米国におけるアクティブ型セミ・トランスパレントETF固有のプロセス処理のためにアップグレードが行われました。

またBBHは、ブルームバーグ社によるETFのためのプライマリー市場ソリューションであるBSKTと連携して、指定参加者（AP）向けに、合理化された新しいワークフローを確立しました。これは、システム間で分かれていたプロセスを統合し、ETFの受注およびETFバスケットのネゴシエーション用のAP向け単一インターフェイスを提供する、初のリアルタイムソリューションです。

当社は機能を拡張し、取引量の大きい複数の市場をサポートすべく業界最先端のベンダーソリューションを、当社のファンド計理およびトランスファー・エージェンシー（TA）・プラットフォームに統合することにより、米国以外の市場における税務面で透明性の高いストラクチャーをサポートする機能拡張を行いました。

市場関連では、セキュリティーズ・レンディング電子取引機能への継続的な投資により、自動化、取引カウンターパーティーとの関連性、お客様の価格決定力の向上が実現しました。為替グループは今年、記録的な新規取引を獲得し、為替アドミニストレーション、InfoFX[®]、直接取引を含むすべての為替プロダクトラインで新たなマンドートを獲得しました。2020年第2四半期の波乱の時期に私たちが発揮した専門性は、お客様からとりわけ高い評価を得ました。

さらに当社は、資産運用会社であるお客様が目標とする、欧州の複数の合同ファンドで一貫性ある投資家体験の提供を支援するため、英国籍ファンドのサービス機能（TAを含む）の構築を今年半ばに完了しました。これにより、当社はダブリン籍、ルクセンブルク籍、および英国籍ファンドに対するサービスを、単一のサービスモデルと運用プラットフォームの中で提供できるようになりました。

「業務の効率化」の推進

2020年は、お客様の業務モデルのみならず、当社の業務モデルについても、効率化推進の重要性がかつてなく高まった年でした。

私たちはミドルオフィス機能を拡張し、約定取引管理、コーポレートアクション、リコンサイル関連のサービス、基準価額（NAV）検証／オーバーサイトを含むすべてのプロダクトにおいて、90を超えるプロダクトの強化を個別に行いました。さらに、Infuse上のInfomediary™ダッシュボードにおけるメッセージのモニタリングとオーバーサイトも強化しました。

Infomediaryデータサービスを通じたデータ接続や統合サービスの実績を生かして当社は、非効率的なファンドのマーケティング・販売にテクノロジーおよび管理の包括的ソリューションを提供することにより、当社のデータサービスをさらに良いものにしました。加えて私たちは、ミドルオフィスおよびバックオフィスの重要プロセスにおけるいくつかの主要なデータフローについて、お客様用にカスタマイズされたAPIライブラリの機能を拡張しました。また、金融機関向けプロダクトを強化し、BBH Infomediaryを通じたホワイトラベルのデジタル・ソリューションおよびテクノロジー・インテグレーションを引き続き提供しました。

当社独自の経費管理プラットフォームIPEXについては、その最終フェーズが導入されました。IPEXは、経費予算とインボイスのワークフローを統合したリアルタイムの予算経費プロセスを提供する、当社のファンド計理システムと相互接続されたプラットフォームです。私たちの目標は、ファンドレベルでリスクの軽減を支援し、ファンドの経費要因の重視を促し、基準価額 (NAV) の計算、キャッシュ予測、および総経費率の正確性を高め、予測的な分析につながるトレンドを得ることです。

また私たちは、当社の先端テクノロジープラットフォームの成熟度を高め、規模を拡大することにも注力しました。これはパンデミックの初期に生じたボラティリティと取引量の急拡大への対処に役立ちました。BBHのアノマリーNAVトラッキングシステム (ANTS) 2.0においては、「エクセプション」と呼ばれる例外的な事項に対するレビューが拡張され、有価証券のプライシングに加えて、インカム分析等の追加的なNAVの構成要素が含められました。2021年には、NAVのすべての構成要素に人工知能 (AI) のアシストを適用した新しいバージョンのANTS 3.0が導入される予定です。

当社はNAVの配信に先立ち、ファンドのパフォーマンスの変化を迅速に識別・説明することによりNAVの正確性を向上するNAVガードレールを導入しました。NAVガードレールのレビュー機能では、為替ヘッジ、バスケットヘッジ、クラスレベルの影響、四分位範囲 (IQR)、および類似するファンド/クラスのパフォーマンスの諸要因が考慮されます。

「オーバーサイトと管理」の促進

当社は、2019年に稼働したデジタル・クライアント・ポータルであるBBH Infuse™を通じて、お客様の業務に関してさらなる透明性を提供すべく、新たな機能の導入を継続しました。

資産運用会社であるお客様には、投資家のオンボーディング・プロセスや進行中のアクティビティ全体に関する情報をひとつの画面でほぼリアルタイムで提供するInfuseトランスファアージェンシーが導入されました。その目標は、お客様が自社の投資家の行動への理解を深め、より効率的かつ効果的にサービスを提供できるよう支援するとともに、お客様の規制上の要件や取締役会の要件の充足を目的としたツールを提供することです。

オルタナティブビジネスでは、Infuseオルタナティブ・ダッシュボードを強化して、お客様が直接目にするデータを集約し、ビジュアル面での柔軟性を向上させ、デジタルで行われるお客様とBBHのやりとりの範囲を拡大しました。また、日常的なプロセスにおけるリアルタイムの透明性や、使いやすさに関するお客様の貴重なフィードバックを取り入れました。私たちは、為替ヘッジプログラムに関するさらなるオンライン機能 (パフォーマンス帰属分析を含む) をFX HedgeHub®に追加しました。また、証券およびコーポレートアクション関連の為替を自動化する為替業務ソリューションであるInfoFX®ツールに、新たなデータおよび分析ダッシュボードを追加しました。

2020年 C-Suite Asset Manager Survey

当社は2020年下半期に、今回が初となるグローバル資産運用会社の経営幹部に対する調査の結果を公表しました。この調査は、資産運用会社であるさまざまなお客様の経営幹部レベルとの50回を超える対話に基づいたものです。

ご参加いただいた多数のCOO、CEO、CFOの皆様が預かる運用資産 (AUM) は合計で18兆米ドルを超えます。これらの皆様との率直な議論からは、業界が今後1年間に直面する機会と課題に関する洞察に満ちた見解が導き出されました。レポート全文はwww.bbh.comでご覧になることができます。



“

BBHの最大の強みは、人材、企業文化、そしてテクノロジーです。そのため私たちは、リモート勤務の環境下においても比類なきサービスを提供し続けることができると確信していました。お客様や仲間との繋がりを深めるための意義あるさまざまな新しい方法を見出すことで、当社がかつてない強さと熱意を発揮して期待を上回る実績を上げられたことが、お客様のフィードバックからわかりました。

Vanessa Cuozzo
インベスター・サービス部門シニア・バイス・プレジデント

2021年の見通し

2021年が始まり、世界がグローバル・パンデミックの影響への対処と舵取りを続ける中で、当社は引き続きお客様への約束を実行することに注力しています。私たちが目指すのは、お客様の成長とパフォーマンスをサポートすること、業務の効率化を進めること、そしてお客様のビジネスのオーバーサイトを支援することです。

「成長とパフォーマンス」のサポート

オルタナティブビジネスはインベスター・サービス部門の重要な成長分野の1つであり、お客様のプロダクトおよび投資対象地域拡大における成長の軌道と、データ主導の組織面での変革をサポートします。私たちは、流動性の低いプライベート市場のプラットフォームの高度化を継続し、複雑でカスタマイズされたプロセス・ワークフローの自動化を図るとともに、キャリアド・インタレストのウォーターフォールやインセンティブ・フィーを全面的に統合した計算エンジンの導入を進めています。こうした取り組みは、当社のテクノロジー・エコシステム全体を通じて、データフローの強化、管理、簡素化を目指すものです。

その他の2021年の投資には、指定参加者 (AP) による接続の選択肢の拡大に重点を置いたETFコネクットの強化や、市場の需要に関する独自の知見を提供する新たなセキュリティーズ・レンディングのデータセット等があります。

為替プロダクトでは、制限のある市場におけるカバレッジの拡大と、InfoFXにおける分析的レポートの強化を進めています。また、為替アドミニストレーションのお客様向けに、ヘッジ付きシェアクラスのトラッキングエラーの透明性を高めるため、Infuseにおけるパフォーマンス・アトリビューション分析ダッシュボードの導入を継続します。

「業務の効率化」の推進

2020年経営幹部サーベイでは、回答者の57%が自社のデータ能力を向上させたいと述べ、38%が効率性を高めるべき分野としてミドルオフィスを挙げました。私たちは、

質の高いデータのアクセス性とリアルタイム性の向上に全社的に注力しています。

当社は引き続き、データ送信ツール Infomediary を用いてデータ (BBH が提供元かどうかを問わず) の集約と標準化を行ってきた20年間の経験を活かし、最先端のフィンテックとレグテックのソリューションへのアクセスを合理化します。

BBH による Infomediary を用いたフィンテックのビジネスラインのブランド名は、2021年1月にインベストメント・オペレーションに変更されました。この変更により、モジュール型、オープン・アーキテクチャ型のテクノロジー・ソリューションと専門サービスが配備され、ミドルオフィス向けのテクノロジーおよびサービス提供における当社の地位が明確化され、強化されることになります。

インベストメント・オペレーションのサービスの一環として、私たちは2021年にIBORの導入を計画しています。フロントオフィスのデータ要件に焦点を合わせ、ゼロから作り上げられたIBORには、より適切なデータの収集、保存、表示を実現するための最新のテクノロジーが使用されています。また現在、さらなる資産をカバーするための次世代機能を開発中です。リアルタイムおよびニアタイムの可用性とポジションベースのデータ収集により、過去の世代におけるバッチプロセスの計理システムにサポートされたモデルに代わって、イベントベースの更新が提供されます。

データサービスの重要な一部であるBBHコネクターは、一連のサードパーティのモジュール型フィンテックと、当社を補完するサービスを提供するサービスプロバイダーを導入することにより、お客様の業務モデル全体にわたる課題への対処を支援するとともに、可能な場合にはアクセスと価値を加速させるデータ管理サービスを提供します。コネクターは、当社と良質な取引先との関係や取り決めを通じて、お客様に追加的な価値をもたらします。

私たちは、金融機関向けのサービスの構築を継続し、戦略的パートナーと協力して、ISO20022等の重要な業界のイニシアチブにおけるプラットフォームとインフラのコスト

の分担や、ホワイトラベルのセキュリティーズ・レンディングまたはデポジタリーのソリューションの提供を行います。

「オーバーサイトと管理」の促進

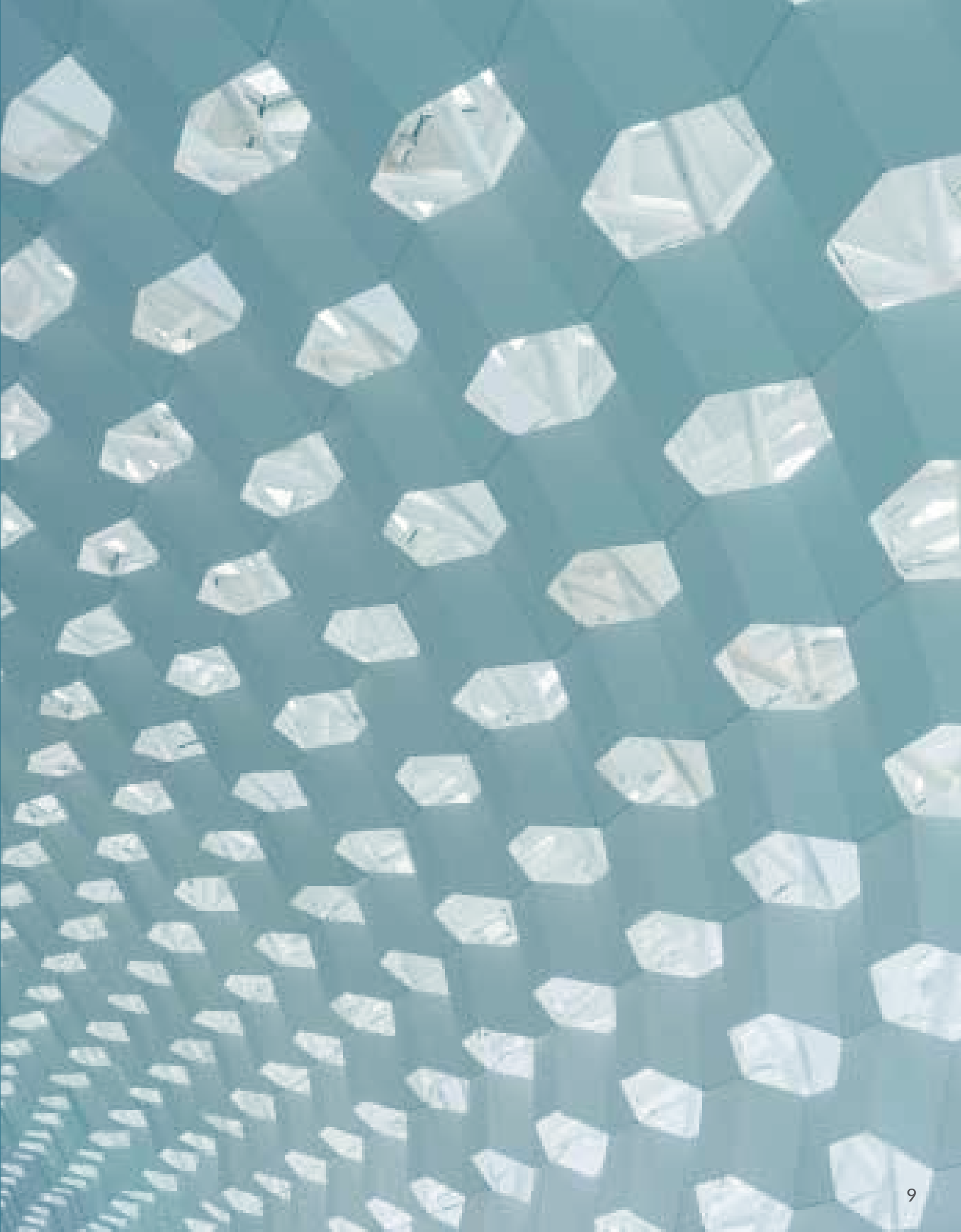
当社は、オーバーサイトと管理を促進するため、お客様の業務モデルに高い透明性を提供するという目標に向かって、すべての Infuse ダッシュボードにおける機能の追加を継続します。

Infuse トランスファー・エージェンシー機能は2021年も進化を続け、現在の投資家オンボーディング・プロセス全体に関する表示に加えて、投資家名簿全体の表示が追加導入されます。2021年の投資では、投資家との質の高いやり取りの重要性に重点を置き、お客様のセールsteamへのサポートを提供しながら、電子メール、ファックス、質問トラフィックの削減によって投資家体験を合理化します。2022年には、投資家による口座開設申込の送信、書類のアップロード、および取引がオンラインで可能になる予定です。

「2021年の目標を検討するにあたり、私たちは、パンデミックの持続的なストレスへの対処に際しての、お客様および当社ビジネスの集団的な強靱性を有り難く思っています。この時期を脱する頃には、関係はより強固なものとなり、私たちの長期にわたるパートナーシップや、それを形作ってきた仕事と人々が持つ価値をお互いに認識しているでしょう」

Seán Páircéir
パートナー
インベスター・
サービス部門責任者







“

プライベート・バンキング部門において、お客様は私たちのあらゆる行動の中心です。激動の2020年を通じて私たちは、試練の時にあってもお客様が資産、事業、ご家族をめぐる目標を達成できるよう、オープンで透明性の高い継続的なお客様へのエンゲージメントに対するコミットメントを貫きました。



Nicole Jackson Leslie
プライベート・バンキング部門バイス・プレジデント ウェルス・プランナー

プライベート・バンキング部門

概要

控えめに言っても、2020年は私たちの仕事と生活のあり方にとてつもなく大きな影響を及ぼしました。誰もが一夜のうちに「ニューノーマル」への適応を迫られました。世界的なパンデミックから社会不安、そして米国の大統領選挙をめぐる騒動まで、絶え間ない変化が起こった一年を通じて、プライベート・バンキング部門は、お客様が自身のご家族、資産、事業、組織に関する成功のビジョンを達成できるよう、その支援に引き続き注力しました。

クライアント・サービスはプライベート・バンキング部門の根幹です。この激動の一年を通じて、お客様への最善の奉仕と効果的なエンゲージメントに対する私たちのコミットメントは変わるところがありませんでした。コロナ禍の初期に対面でのやり取りが難しくなったことから、当社は新たなクライアント・エンゲージメントを計画し、お客様とのコミュニケーションやソートリーダーシップを新たに展開しました。また、各種イベントをオンラインに切り替え、大規模なバーチャルイベントやウェビナーから打ち解けた雰囲気の小規模なラウンドテーブルまで、さま

ざまな集まりを主催しました。最も重要な点は、お客様が先行きの不透明な時代を舵取りしつつ自身の目標を達成できるよう支援すべく、私たちがお客様との連携を続けたことです。2020年に顧客維持率100%を達成できたことは、お客様に対する私たちのコミットメントの強さの表れです。

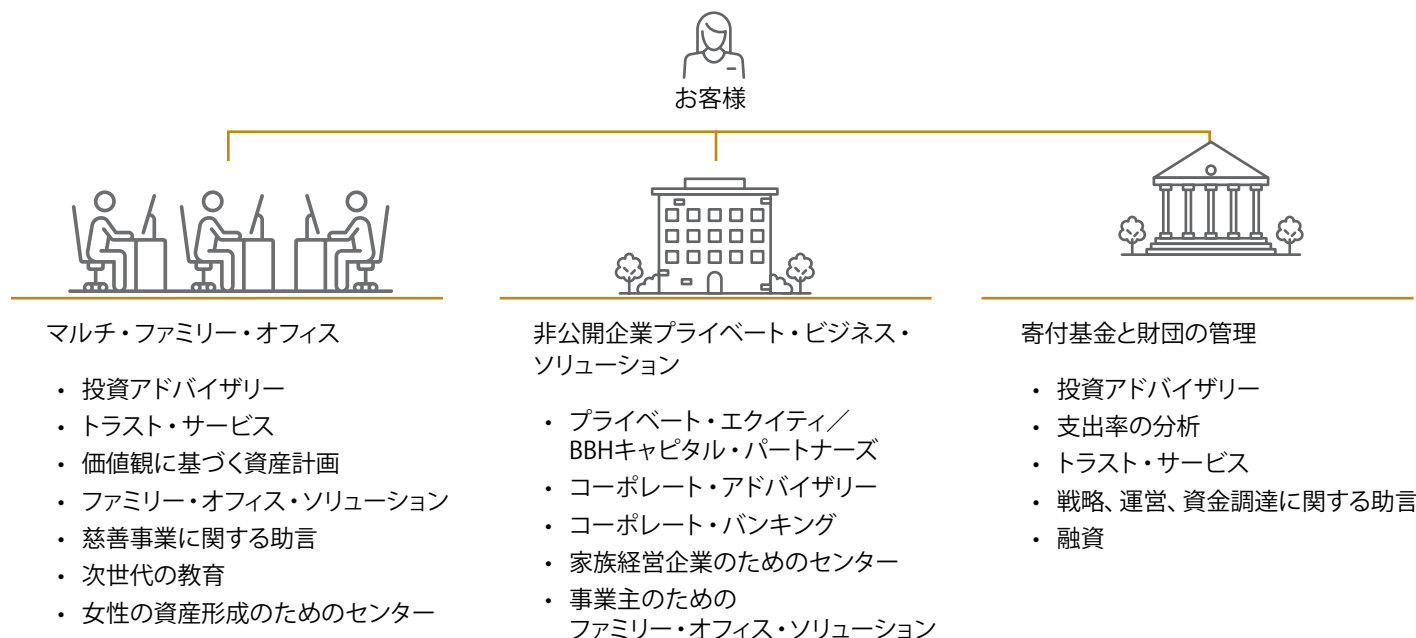
唯一のアジェンダ： お客様のために

プライベート・バンキング部門では、お客様が自身のご家族、資産、事業、組織に関する成功のビジョンを達成できるよう支援することに注力しています。私たちは、まずそれぞれのお客様固有の事情と目的を理解した上で、200年以上にわたりお客様の目標達成をサポートしてきた投資家、信頼できるアドバイザー、そして資本提供者としての視点や経験をお伝えしています。私たちは、「マルチ・ファミリー・オフィス、プライベート・ビジネス・ソリューション、寄付基金と財団の管理」という3つの主要ビジネス領域にわたり、お客様と連携します。

マルチ・ファミリー・オフィス

BBHのマルチ・ファミリー・オフィスのミッションは、ご家族の繁栄をお手伝いすることです。私たちはお客様と連携して、お客様の独自の価値観を定義・共有し、自身の資産をどのように人生に活かしたいかというお客様のビジョンを伝達し、長期的な資産の保全、拡大、およびご家族や慈善活動への譲渡を支援する計画の策定と資本投下を行います。お客様は、自身の目標達成を支援する一連の包括的ソリューションを利用することができます。これには、資本の保全・拡大を目的とした規律ある投資、価値観に基づく資産計画、トラスト・サービス、慈善事業に関する助言、ご家族のエンゲージメントとコミュニケーション、ファミリー・オフィスに関する助言、およびコーポレート・アドバイザーとコーポレート・バンキングが含まれます。お客様の成功の定義が何であろうと、当社は、お客様と共に自ら投資を行うことによってお客様、そのご家族、そして資産を自分たち自身と同様に大切に、利益の一致を図ります。

お客様の成功を支援する包括的なソリューション



プライベート・ビジネス・ソリューション

プライベート・ビジネス・ソリューションでは、企業財務に関する客観的な助言、家族経営企業やファミリー・オフィスの指針、当社のプライベート・エクイティ活動を通じたカスタマイズ・ベースの劣後資本ソリューション、借入資本（商業融資、コモディティ・トレードファイナンス、非課税ファイナンス／産業歳入債等）、および当社ネットワークの力を提供することで、お客様の企業の成長や事業承継を支援します。私たちは、まずお客様それぞれの事業の価値観、資本ニーズ、ガバナンス構造、承継計画、および長期の戦略的目標を理解した上で、事業の拡大、ガバナンスや利害関係者間のコミュニケーションの強化、そして要望に沿った最終的な事業の譲渡を支援するための計画を策定します。私たちが目指すのは、それぞれのお客様との長期的な関係の構築です。

寄付基金と財団の管理

寄付基金と財団の管理では、組織の支出ニーズを満たすと同時に長期にわたって投資ポートフォリオの購買力を維持できる計画を、当該組織と連携して策定・実行します。寄付基金と財団による投資に対する私たちのアプローチは、資本の保全や拡大のためにボトムアップを重視する一方、市場の低迷時におけるアウトパフォーマンスへの注力も組み合わせたものです。投資実行に加えて、当社は、資本調達に関する助言、支出方針の策定、理事会の設置やガバナンスの構築、事業運営に関する助言、慈善事業による効果の管理、および資金ニーズに応える非課税ローンの提供など、組織の管理・運営の強化を目的とした追加のソリューションを提供します。



“

お客様の資本の保全と拡大は、私たちの投資アドバイザリーの核心です。当社の投資哲学は、長期的な当事者の視点を持つこと、そしてその対象と理由を理解することを命じています。このコミットメントにより、私たちは激動の2020年を通じて、お客様のために自信と忍耐を保つことができました。

Justin Reed
マネージング・ディレクター、
副投資責任者

お客様への私たちの約束

- ✓ お客様とご家族、資産を自分のこととして大切にします。
- ✓ お客様の利益を最優先します。
- ✓ お客様の資産を長期にわたり保全し、拡大することを追求します。
- ✓ お客様と共に当社自ら資本を投じ、利益の完全な一致を図ります。
- ✓ 事業主、アドバイザー、投資家から成るBBHのネットワークを最大限に活用し、事業主の皆様が事業の成長と譲渡における目標を総合的に達成できるよう支援します。

2020年のビジネスハイライト

プライベート・バンキング部門は、継続的にコラボレーションへの注力を意識し、お客様の利益を考えたイノベーションへ尽力したことで、実り多き2020年を達成しました。お客様の目標達成に向けた私たちの継続的なコミットメントと、差別化されたソリューションや優れたサービスの提供により、数多くの成果が生み出されました。

- ・ プライベート・バンキング部門の収益は、2019年と比べて11%増加しました。この業績のけん引役となったのは、運用成績と記録的なネットフローに支えられて前年比19%増となった運用資産残高でした。
- ・ プライベート・バンキング部門の投資チームは、当社と同じ方向性を持つ投資哲学を有する優れた運用会社との提携を継続しました。当社は、マルチ・ファミリー・オフィス、および寄付基金と財団のプラットフォームにおいて、いくつかの上場株式戦略を追加するとともに、BBHのインベストメント・マネジメント部門と協力して2つの新たな債券戦略を立ち上げました。プライベート・バンキング部門内では、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより生じた機会を活用するための適切なポートフォリオを目指し、ディストレスト債へのアロケーションを追加しました。
- ・ 市場では一年を通じて数回の混乱が生じたにもかかわらず、当社の投資プラットフォームはお客様のために絶対値ベースで優れた成績を上げました。私たちの最も一般的な投資ポートフォリオであるバランス型成長戦略投資は、12月31日までの期間に14.4%上昇し、11.8%の上昇となった混合ベンチマークを254ベースポイント (bps) アウトパフォームしました。当社のポートフォリオにおける最大の構成要素である上場株式は、年初来で21.0%上昇し、16.3%の上昇となったMSCIワールド指数 (ネット) をアウトパフォームしました。

- ・ BBHキャピタル・パートナーズは、合計4億5,000万米ドル超となる8件の新プラットフォーム投資を実施し、キャピタル・パートナーズVIの第2回クロージングで10億米ドルを調達し、キャピタル・パートナーズIVにおける最大のポジションの投資回収を成功させました。
- ・ クレジット市場の絶え間ない変動と不透明な経済環境にもかかわらず、コモディティ&ロジスティクス・チームとコーポレート・レンディング・チームは、お客様の資本ニーズに応え、新たな関係を築き、コーポレートローン残高を拡大しました。クレジット・ファシリティは17%拡大し、融資残高は21%増加して、戦略的に魅力あるプライベート・ビジネスとの14件の新たな融資関係が追加されました。
- ・ コーポレート・アドバイザリー・チームは、プライベート・ビジネスのオーナーによる主要な戦略決定が円滑に行われるよう、多数のエンゲージメントを完了しました。これには、複数の売却取引や企業の成長戦略の策定が含まれます。家族経営企業のためのセンターでは、事業承継計画、分配方針、家族経営企

業におけるガバナンス構造の強化など、さまざまなプロジェクトへのエンゲージメントを行いました。

- ・ 私たちは、価値観に基づく資産計画、次世代の体験、女性の資産形成のためのセンター、慈善事業に関する助言における追加的なツールとリソースを用いて、ご家族の価値観の識別・伝達をより適切に支援する包括的なソリューションを引き続き強化しました。
- ・ BBHトラスト・カンパニーの収益は22%増加しました。これは数件の新規のお客様の獲得、既存のお客様との関係における大幅な追加、および多数の複雑かつ大規模な遺産の整理によるものです。トラスト・カンパニーの今年の平均資産残高は9%増加しました。
- ・ 私たちは、お客様がバンキングの選択肢をより適切に合理化できるよう、一連のファミリー・オフィス・サービスを強化しました。



2020年、新たな方法で繋がりを保ったプライベート・バンキング部門チーム



2021年の見通し

2021年、プライベート・バンキング部門は、業界をリードするソリューションやサービスの提供と、協働アプローチを通じたBBHのフル能力の発揮により、お客様の個人面・事業面の目標達成の支援に引き続き注力します。2021年の主な重点分野は以下のとおりです。

- ・ インベストメント・エクセレンス：当社の規律の下で投資哲学を忠実に守り、投資チームおよび外部の資産運用会社と緊密に連携して、将来の成功に向けた良質なポートフォリオの構築を確かにすることで、市場サイクル全体を通じて資本の保全・拡大を追求します。予想される市場混乱の時期を、新しい魅力的な公開／非公開の投資対象の特定と資本投入の機会として捉えると同時に、現行戦略による成果を継続させるための取り組みを精力的に行います。
- ・ ファミリー・オフィス・ソリューション：それぞれのお客様固有のニーズに確実に応えるファミリー・オフィス・ソリューション、とりわけ統合レポートの提供、一家の事務、財団の管理、ファミリー・オフィスの設置・構造化をめぐるソリューションを引き続き強化します。

- ・ モバイルアプリ：プライベート・バンキング部門の新しいモバイルアプリの開発を進めています。リニューアル後のアプリでは、ユーザー体験の設計が変更され、お客様は口座レベルのデータへのアクセス、生体認証によるログイン、リレーションシップチームとの連絡、重要情報の更新ができるようになります。
- ・ 家族経営企業のためのセンター：ガバナンス、承継、家族と事業の接点で生じるその他の問題に関する知見をプライベート・ビジネスのオーナーの皆様を提供することを目的とし、オーナー同士の新たなウェビナーシリーズを開始します（状況が許すようになれば、対面のイベントに切り替える予定です）。
- ・ トラスト・カンパニー：お客様の相続計画における執行者に当社が指名される事例が増えていることから、税務、会計、遺産整理機能への大規模な投資を継続します。

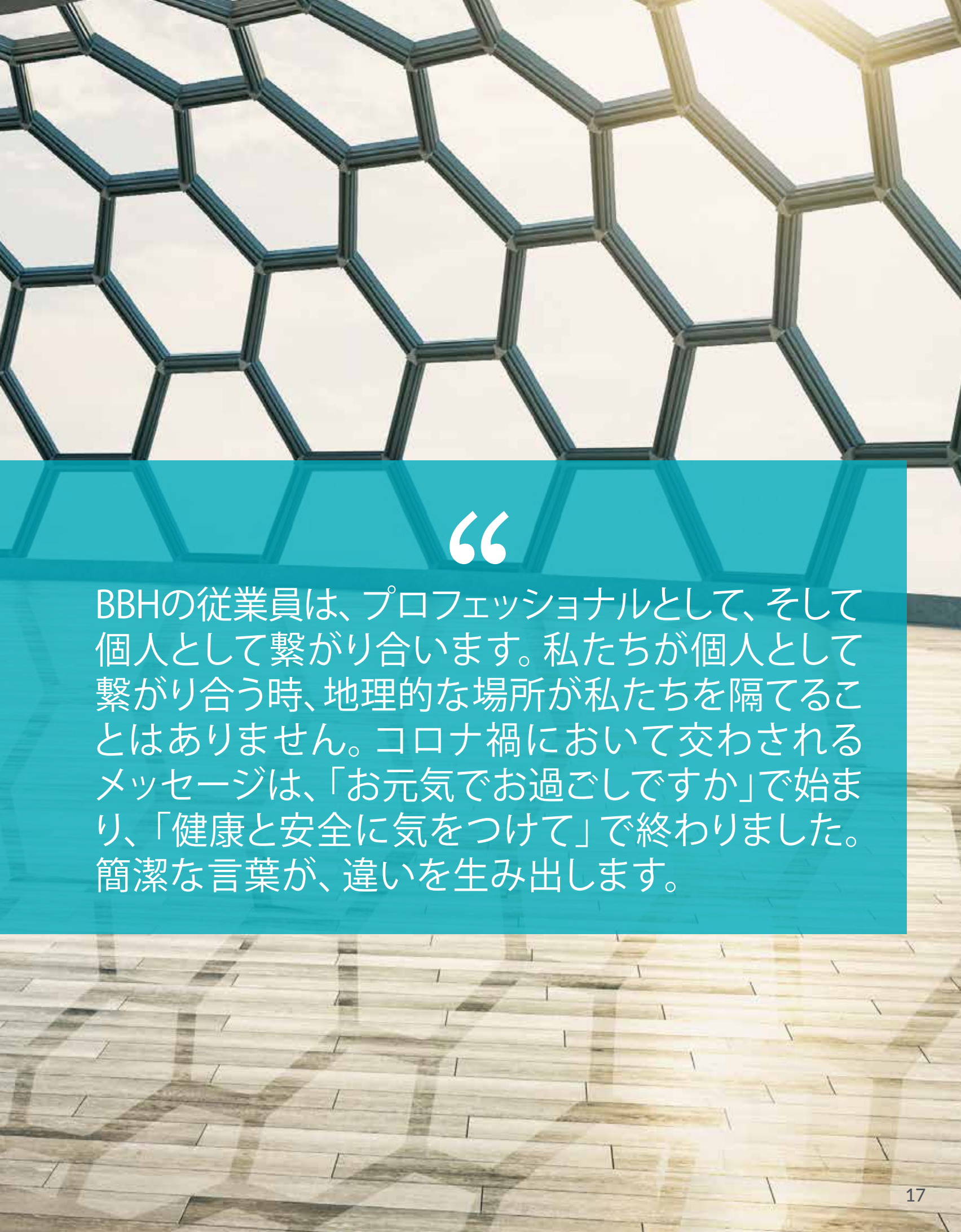
「控えめに言っても、2020年は私たちの仕事と生活のあり方にとてつもなく大きな影響を及ぼしました。誰もが一夜のうちにニューノーマルへの適応を迫られました。世界的なパンデミックから社会不安、そして米国の大統領選挙をめぐる騒動まで、絶え間ない変化が起こった一年を通じて、プライベート・バンキング部門は、お客様が自身のご家族、資産、事業、組織に関する成功のビジョンを達成できるよう、その支援に引き続き注力しました」

Jeff Meskin
パートナー
プライベート・
バンキング部門責任者





Jorge Aseff
インベストメント・マネジメント部門シニア・バイス・プレジデント



“

BBHの従業員は、プロフェッショナルとして、そして個人として繋がります。私たちが個人として繋がら合う時、地理的な場所が私たちを隔てることはありません。コロナ禍において交わされるメッセージは、「お元気でお過ごしですか」で始まり、「健康と安全に気をつけて」で終わりました。簡潔な言葉が、違いを生み出します。

インベストメント・マネジメント部門

概要

BBHのインベストメント・マネジメント部門は、厳選された少数の株式および債券戦略を提供します。これら戦略はどれも、長い期間にわたる資本の保全と拡大を目標とする、ボトムアップ型のファンダメンタル・リサーチに根差した強力なバリュー投資哲学を共有しています。現在、インベストメント・マネジメント部門では、BBHのプライベート・バンキング部門からくる300億米ドル超の資産を含め、約640億米ドルの資産を運用しています。私たちの多様な顧客基盤には、世界各地の機関投資家、金融仲介業者、政府系ファンド、寄付基金、富裕層の個人投資家などが含まれます。資産の約42%は米国外のお客様の保有資産であり、中でもアジア、欧州、ラテンアメリカ、中東が高い比率を占めています。

当社の現在の投資戦略として、以下が挙げられます。

株式

- ・ 米国大型株
- ・ 中小型株（集中型）
- ・ インターナショナル株
- ・ グローバル株

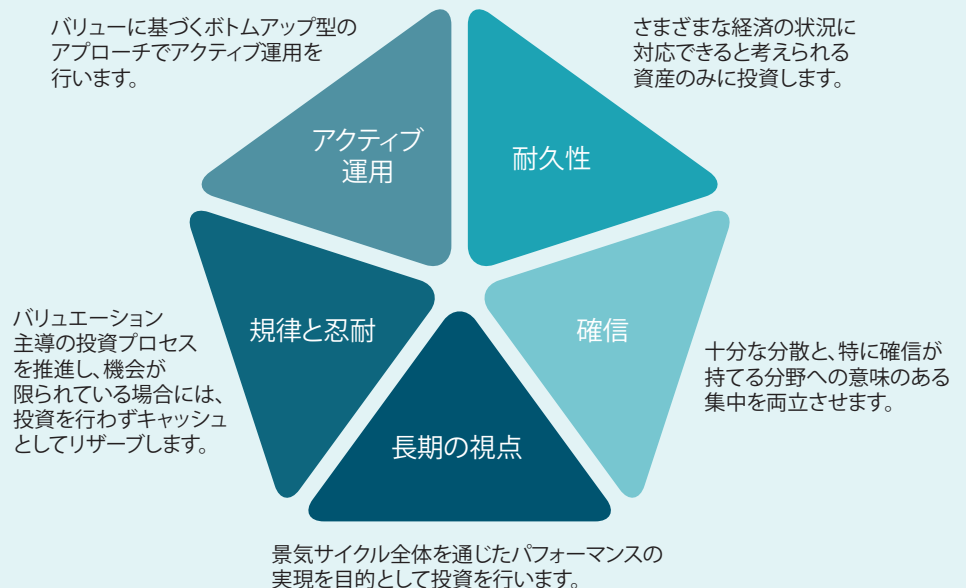
債券

- ・ 債券コア
- ・ 中期デュレーション債券
- ・ リミテッド・デュレーション債券
- ・ アンコンストレインド・クレジット - 債券
- ・ ストラクチャード債券
- ・ 地方債
- ・ 物価連動債
- ・ 変動金利ローン

私たちのミッションは、市場サイクル全体を通じたお客様の資本の保全・拡大において、最も優れた存在になることです。市場サイクル全体を通じて一貫した明確な投資原則を採用し、市場が厳しい状況にある際に資本を保全することが、長期的なアウトパフォーマンスの鍵だと私たちは考えています。

投資原則

当社の投資戦略には一貫して、以下の原則が適用されます。



当社は、限られた数の販売チャネルを通じて当社の投資戦略へのアクセスをお客様に提供することにより、投資の優先事項とプロセスの質に集中し、差別化された成績を達成することを可能にしています。私たちの強みは、投資チームの質と継続性、厳格な基準適用、そして投資プロセスの規律と再現性にあります。



JP Paquin
パートナー インベストメント・マネジメント部門責任者

「インベストメント・マネジメント部門チームが示した強み、決意、強靱性、成功と前進への意欲は、真に人を奮い立たせるものでした。2020年に達成した成果と、それによって築かれた2021年の成功の土台を、私たちは誇りに思っています」

2020年のハイライト

2020年、私たちはインベストメント・エクセレンスやより深いお客様との関係性構築へのコミットメントを継続しました。今年のハイライトは以下のとおりです。

- ・ バーチャルミーティング、電話会議、ウェビナー、およびパンデミックの波乱相場に対する特別コメントリーを通じて、お客様のエンゲージメントを大幅に拡大
- ・ 環境、社会、ガバナンス (ESG) のポジショーステートメントを強化し、エンゲージメント・ステートメントを作成することで、ESG関連の問題をめぐるソートリダーシップを促進
- ・ 国連の責任投資原則 (PRI) に署名し、国連グローバル・コンパクトに参加。こうした協調は、当社のサステナビリティへの熱意の表れ
- ・ 世界各地の既存・新規のお客様から、約40億米ドルのグロススペース新規資産のオンボーディングを実施
- ・ ポートフォリオ運用のリソースとして、投資アナリストを5名増員
- ・ 資本保全と慎重な投資管理を行いつつ、インカムゲインに重点を置きトータルリターンの最大化を目指すルクセンブルク籍UCITSインカム・ファンド、およびBBHが優れた市場プレゼンスを有する質の高い資産担保証券への投資に同じクレジットとバリューの規律を適用するストラクチャード債券プロダクトを設定
- ・ 重要なテクノロジーのアップグレードにより、投資分析とお客様に対するレポート機能強化
- ・ さまざまな債券戦略において目覚ましいパフォーマンスを達成し、当社の厳格な投資プロセスの有効性を実証

2021年の見通し

昨年の今ごろ、2020年に何が起ころうとしているか、私たちにはまったくわかっていませんでした。果たして私たちは、世界的なパンデミック、過去に例をみない労働環境の混乱、相場の大波乱、社会的正義を目指す運動、政治不安に直面することになり、その状況は今も続いています。これに対してインベストメント・マネジメント部門チームが示した強み、決意、強靱性、成功と前進への意欲は、真に人を奮い立たせるものでした。2020年に達成した成果と、それによって築かれた2021年の成功の土台を、私たちは誇りに思っています。

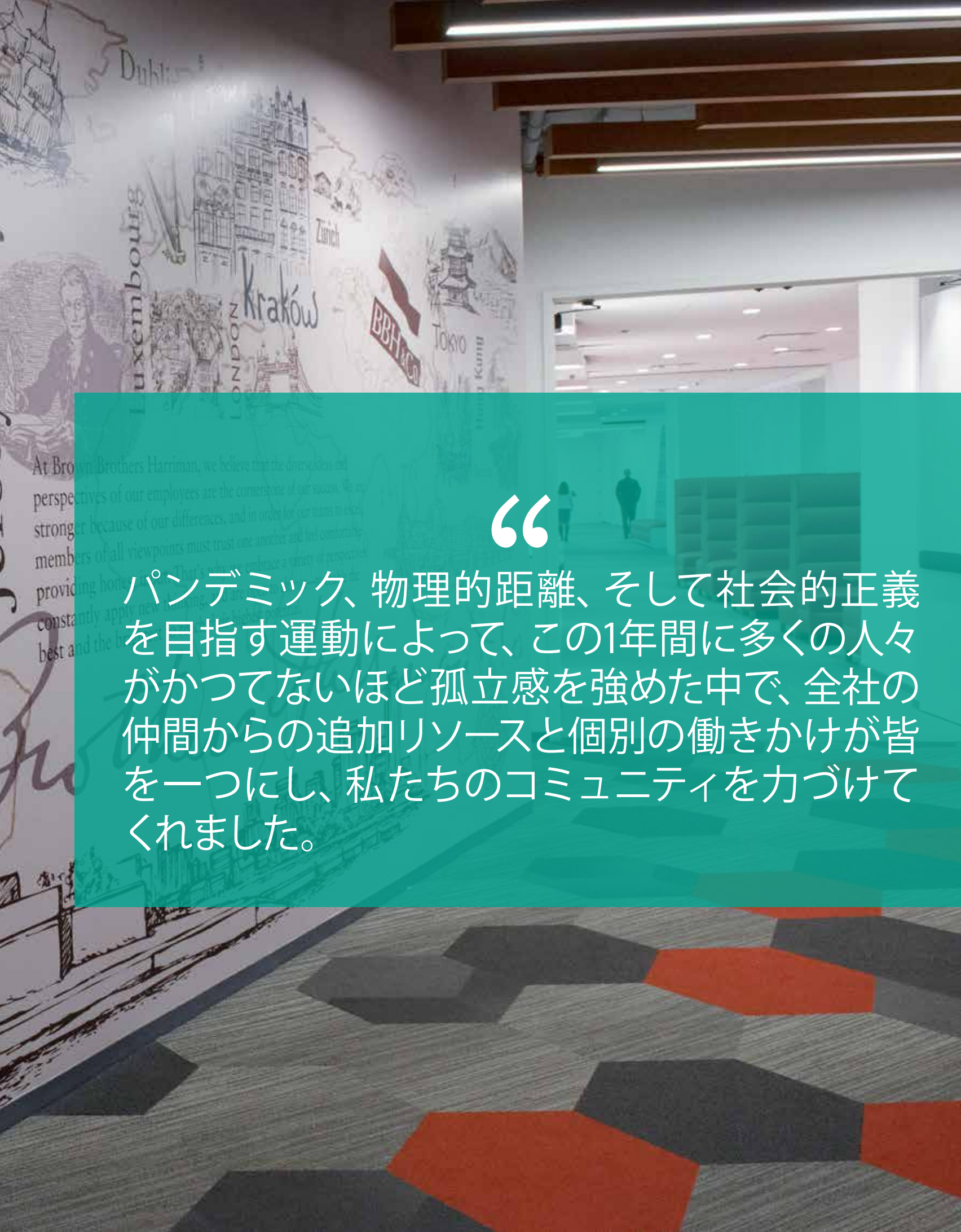
当社は、記録的な640億米ドルの運用資産とともに2021年のスタートを切ります。債券ビジネスも過去最高の運用資産を記録し、その優れた実績から新規のお客様と資産を引き続き呼び込んでおり、いくつかの新たな戦略が検討されています。株式ビジネスでは、新たな米国中型株戦略の追加によるプロダクトの拡大が予定されています。また、ESG投資の取り組みを引き続き推進します。お客様担当チームは、ポートフォリオマネージャーと協力して、お客様のポートフォリオに関する十分な情報提供を確かにする新たなテクノロジーツールの導入に成功しました。その結果、当社の根幹を成す分野 (オペレーション、コンプライアンス、テクノロジー、リスク、法務) において、ビジネスの継続的成長をサポートする態勢が整いました。2021年は極めて多忙な年になると私たちは予想しています。



“

パンデミックの初期においても、私たちのチームは電話で最新情報の提供を頻繁に行い、ポートフォリオに関する見解や幅広い市場の環境について詳しく述べた特別なレターを通じて、お客様と絶えず連絡を取り合っていました。このコミュニケーションにより、お客様は安心感を持ち続け、その後の回復の恩恵を受けることができました。

Ting Zhou
インベストメント・マネジメント部門
バイス・プレジデント



“

パンデミック、物理的距離、そして社会的正義を目指す運動によって、この1年間に多くの人々がかつてないほど孤立感を強めた中で、全社の仲間からの追加リソースと個別の働きかけが皆を一つにし、私たちのコミュニティを力づけてくれました。



Marla Barr
シニア・バイス・プレジデント
ダイバーシティ&インクルージョングローバル責任者

企業文化

共通の目的から生まれる集団としての強み

私たちのビジネスの成功は、共有された価値観や共通の目的に基づく、お客様、コミュニティ、そしてお互いの深く意義ある関係から生まれます。この特異な一年に起こったさまざまな出来事は、長期的視野から見た、私たちを取り巻く人々安全、心の健康、経済的幸福を優先する必要性に基づく変革の道のりの始まりを促しました。従業員の集団としての強みによって、当社は比類なきサービスの信頼できる源泉であり続けることができました。私たちは集中、機敏性、思いやりを示しつつ、お客様の目標達成の支援にあたって要求されるあらゆる細部に注力しました。

コミュニティの年： 繋がり維持と支援の実感

従業員は、当社の存在と行動の中心です。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生し、95%リモート勤務という環境に迅速かつ円滑に移行する必要性からテクノロジーへの投資が促されました。これにより、さらなる協働ツールとリーダーシップ開発が生まれたことが、従業員の新たな働き方への適応に役立ちました。

新しい方針と教育プログラムにより、当社は柔軟性を高め、またリソースを拡大し、従業員が個人の生活と職業人としての生活にそれぞれより適切に対処することが可能になりました。相場の大波乱の時期にあっても雇用を維持し、キャリアを育成することで、チームの団結を保ち、従業員とお客様の長期的な利益を守る能力を、私たちは誇りに思っています。全社のリーダーたちは、自信を根づかせ、仲間の幸福をサポートし、お客様やお互いへの奉仕において私たちが体現する最善のものを示して、私たちに触発してくれました。

内と外の幸福： ケアを妨げる障壁の排除

この特異な年において、従業員の幸福の重視は当社にとって真の転換点となりました。2020年、当社の従業員支援プログラム「BBHアシスト」への投資を拡大する過程で、私たちは当時最も必要とされていたケアを妨げている障壁を排除しました。

この投資のひとつの重要な部分は、BBHコミュニティの個々のメンバーによる心の健康と情緒的健康のより適切な管理を支援することを目的とした新たな給付の導入でした。各従業員とその家族は、文化的感受性を取り入れた療法やコーチングなど、一流のプロバイダーのサービスを無料で16回利用することができます。また、ストレス、不安、うつ病、薬物乱用、人間関係の課題等の問題への対処を支援するセルフケア・アプリに無制限にアクセスすることもできます。さらに従業員をサポートすべく、マネージャー層は、人々の悩みの兆候を認識して専門家の支援とリソース利用の方策を提案するためのトレーニングを受けました。加えて、当社の健康プラットフォーム「Thrive」では、25回のバーチャルサポート・イベントや、多数の健康オンラインチャレンジを主催するとともに、ケアの提供や自宅学習に伴う課題から孤立感と闘う方法まで、さまざまなトピックに関する情報を従業員に提供する数百件のメッセージを公開しました。

**Business Group
on Health**

BBHは、健康と幸福
における卓越性により、
The Business Group
on Healthによる
**2020年の
最高の雇用主**
に選ばれました

当社が呼び掛ける行動：社会的正義の決算

多くの人々にとって、2020年は傾聴、学習、熟考、そして理解の一年となりました。パンデミックがもたらした影響の不公平さと、世界各地で巻き起こった社会的正義を目指す運動は、BBHにとって転換点となり、私たちはこれらが呼び掛ける行動を極めて真摯に受け止めました。あらゆる背景を持つ個人を受け入れて称賛するアライシップや、安全かつインクルージョン重視の環境づくりに対する私たちのコミットメントは、かつてないほどに深まりました。当社では、リーダー層と従業員に対し、懸念への対処、サポートの提供、およびお互いの実体験を理解するために時間を割くことの重要性に関する注意喚起を目的とした勇気ある対話を促しました。

2019年に開始したインクルーシブ・リーダーシップ・トレーニングは2020年にさらに推進され、すべての中級・上級レベルのマネージャーがこの対話型プログラムを修了しました。このプログラムは、リーダー層のオンボーディングのカリキュラムにも組み込まれています。加えて、上級リーダー層は、黒人のプロフェッショナルが直面する障害と、意義ある変化を起こすための変革的リーダーシップの手法を示す教育プログラムに参加しました。教育から職業へのアクセス、住宅、食料不安まで、私たちのコミュニティに存在する根強い問題に関する情報提供イベントを通じて、全レベルの従業員が団結しました。黒人の歴史の歪曲についての議論や個

人的な体験談の共有により、ステレオタイプが恒久化する道筋が明らかにされ、暗黙の偏見の打破に狙いが定められました。

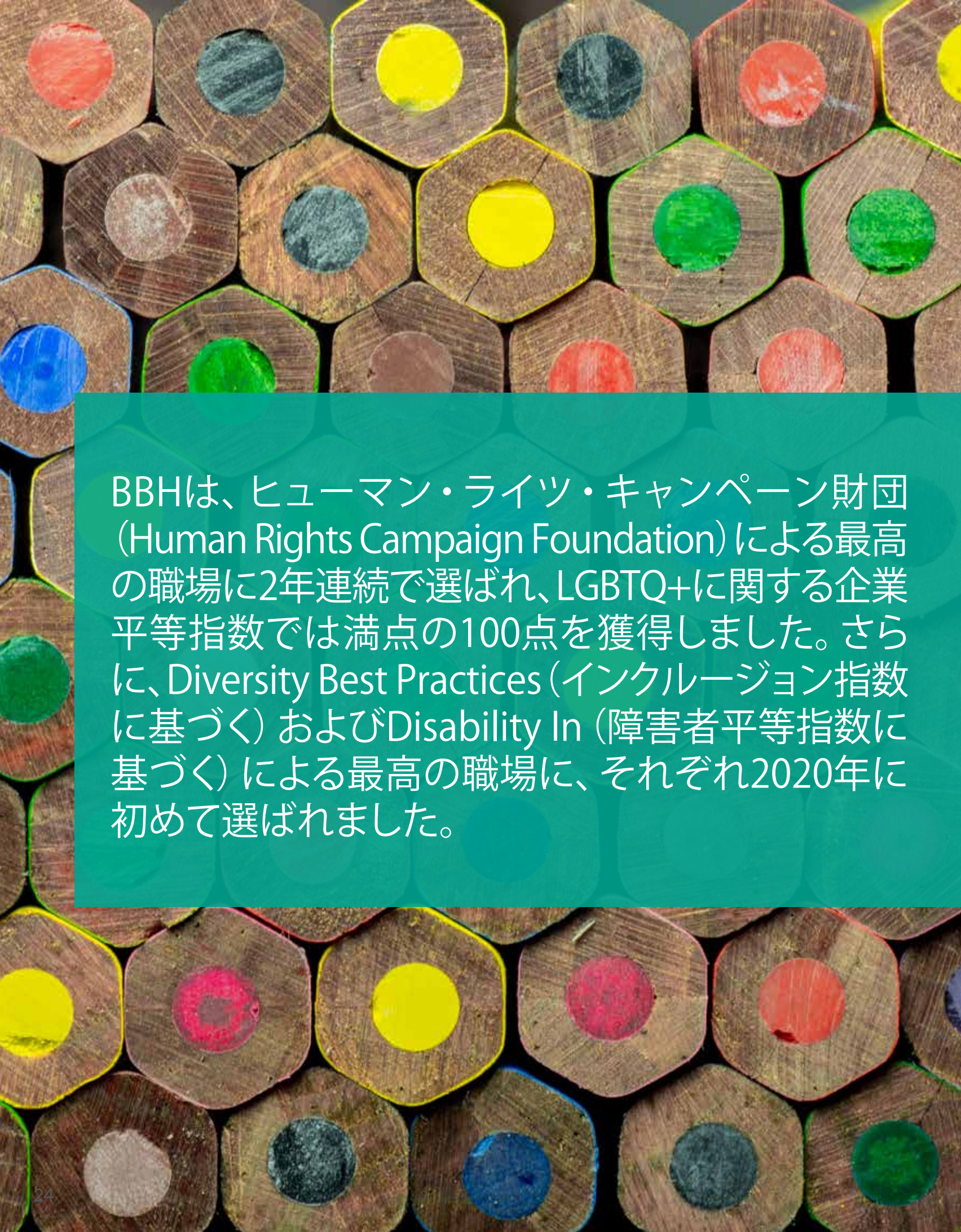
新たなレンズを通じて、当社は従業員候補者の多様性を高める追加措置を講じ、登用が進んでいない層のプロフェッショナルにキャリア向上のためのより充実したサポートを提供し、地域社会のパートナーとのさらなる協力によって私たちを取り巻く世界の根強い課題への解決策を策定しました。また、ジェンダーおよび民族の登用を促進する目標を設定するとともに、進捗を把握するためのセルフ・アイデンティティ・プログラムの強化プロジェクトを立ち上げました。こうした強い意志に基づく行動により、2020年にはさまざまな持続可能かつ意義深い変化が生まれました。しかし、目標達成のために成すべき仕事は残されていると私たちは認識しています。多様性とインクルージョンに注力する諸団体との間で結ばれた新たなパートナーシップによって、個人が成長し最善の仕事を生み出すために必要な所属、受容、尊重の感覚を提供する環境づくりを続ける取り組みが加速するでしょう。



“

オープンで率直な対話や幅広く親和性の高いイベントへの出席を通じてBBHのコミュニティとの繋がりを保ったことで、私はサポートの存在を実感し、2020年の先行き不透明な情勢がもたらした感情の波を乗り切ることができました。

Victoria Glover
ネットワーク・マネジメント アソシエイト



BBHは、ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団 (Human Rights Campaign Foundation) による最高の職場に2年連続で選ばれ、LGBTQ+に関する企業平等指数では満点の100点を獲得しました。さらに、Diversity Best Practices (インクルージョン指数に基づく) およびDisability In (障害者平等指数に基づく) による最高の職場に、それぞれ2020年に初めて選ばれました。



BBHのブラック・アフィニティー・ネットワークが主催したZoomのアフロジョイ・ダンスレッスンに参加する従業員たち

仲間や文化を通じた繋がり

BBHが従業員のリーダーシップを推進し、文化の多様性を促すひとつの方法は、従業員のスキル開発、異なる文化体験、ネットワーク構築、およびビジネス上のさまざまなイニシアチブのサポートに関するプラットフォームを提供するBANCを支援することです。こうした従業員主導のネットワークは、リーダーシップと協働を促し、従業員やコミュニティとの繋がりを強化して、活気のある職場づくりに貢献します。当社には現在、10のネットワークがあります。2020年に開催された75回のイベントには数千人の従業員がバーチャル環境で集まり、インターセクショナリティを理解することの重要性や、強いコミュニティが持つ力を示しました。さまざまな文化や背景を称賛しサポートすべく、BBHは2020年に有給休暇の方針を拡充し、個人的な文化的行事のための休暇を1日追加しました。

最も必要な時期、必要な場所での社会還元

当社にとって、2020年においてもコミュニティのパートナーや非営利団体に対するすべての年次サポートを継続することは重要でした。対面のボランティアは今年の早い段階で制限されましたが、BBHの従業員は、さまざまな個人や家族のために時間と能力を割く取り組みを継続しました。当社は、地元コミュニティに対し、各従業員が個人的に意義のある活動を行えるよう、社会奉仕活動のための有給休暇1日を付与しました。さらに、学校、学童保育、地域団体と連携して、対面の指導とメンタリングプログラムをバーチャル学習の機会に切り替えることができました。協力して課題を解決することの重要性を説明しようと設置したリーダーシップカリキュラムでは、生徒たちがバーチャル学習へ適応する方法や、仲間をより効果的に助ける方法を学びました。ボランティアの他にもBBHの従業員は、助けを必要としている子どもたちのために学用品の回収、バックパック寄付活動、ホリデーギフト寄付活動を継続しました。さまざまな地域や大陸のオフィスに所属する当社の従業員は、これらの寄付活動の仕組みを通じ

て、子どもたちが「教室」の場所に関係なく学習の準備を整えられること、そして助けを必要としている子どもたちがホリデーシーズンにちょっとした喜びを受け取れることを示しました。

2020年、当社の米国における年次寄付活動やそれぞれのオフィスにおける地元の寄付金集めは若干異なる様相を呈したものの、その効果に変わりはなく、総額では過去最高を記録した昨年と同等の寄付金が集まりました。また、世界各地の慈善事業の年次サポートに加えて、当社は新型コロナウイルス感染症への対応にあたる病院、機関、財団への資金援助を追加的に行いました。従業員は、いくつかのコミュニティにおける当社のパートナーにおいて、食事、緊急資金、子どもたちの学習支援の余力等をめぐる需要が著しく高まっている状況を認識しました。そのため、BBHのパートナー陣は、各自のオフィス所在地の地元において最も必要性の高い慈善事業への寄付用に、半期・年末のギフトを確保しました。合計で、私たちは150を超える慈善団体に対し470万米ドル超の資金援助を行いました。



世界中のBBHの従業員が、2020年を通じて仕事と家庭のバランスを両立

最高の人材のサポート

2020年のさまざまな課題をよそに、BBHはビジネス全体で**1,200人**の新従業員を迎え入れるとともに、従業員の20%を昇進させ、すべての新規採用と昇進において多様性を向上させました。

仲間への助力

BBHの社員支援基金（ERF）は、2012年の創設以来、従業員の生活に違いを生み出してきました。ERFは、米国内国歳入法第501条c項3号に基づく非営利団体（501(c)(3)団体）として登録され、大規模災害による予期せぬ経済的困難に直面する従業員を支援したいと願う当社の従業員やパートナーからの惜しみない寄付によって運営されています。2020年、同基金はBBHの従業員とその家族に対し、およそ100件、合計約65万米ドルの支給金を提供しました。

平等のための取り組み

BBHは、ニューヨーク市による平等のためのキャンペーンにおけるユナイテッドウェイの初期メンバーでした。時間、人材、資金を提供することにより、健康的な食事、医療、質の高い教育、経済的モビリティ等へのアクセスをめぐる私たちの社会における人種の不平等の、相互に繋がりが合った根本原因に対処するための連携を行っています。

新たなアイデアの準備

当社の年次コードフェストにおけるイノベーションの取り組みは、コロナ禍のために延期せざるを得ませんでしたが、従業員の創造性とアイデアを封じ込めることはできず、BBHの新たなクラウドソーシング型アイデア創出プラットフォーム「HATCH」が新たな受け入れプログラムとなりました。HATCHにおいて、従業員はいくつかのビジネス上の課題に対する解決策を見つけるため、世界中の任意の場所からアイデアを共有し、連携し、ネットワークを構築することができるようになりました。このバーチャル・グローバル・イベントは、2020年秋にパイロットテストが行われ、2021年第1四半期中に全社で導入されます。これにより従業員は、デザイン思考の能力を発揮し、BBHをより良い場所にするための方法から次世代プロダクトまで、あらゆる事柄についてのアイデアを共有する機会を得られます。





近年、企業や投資家は、環境、社会、ガバナンス (ESG) の諸問題を最優先することが、リスク管理、最高の人材や顧客の獲得・維持、市場の絶え間ない変化への適応において重要であると認識するようになってきました。しかし2020年は、プラスの影響を与えることに注力する、並外れて重要な時期となりました。私たちが見舞われたグローバル・パンデミック、世界各地の社会的正義を目指す運動、環境災害、そして過去に例のない世界的な波乱相場のすべてが相まって、持続可能な未来の創造に私たち全員が参加する必要性が浮き彫りとなりました。

2020年にサステナビリティと事業継続性は一体化しました。今年、当社ビジネスの力強さを保つことが意味していたのは、お客様へのサービス提供を継続しながら仕事や生活のあり方に関わるあらゆる点を変更し、プロセスをデジタル化し、従業員とコミュニティの幸福に積極的に注力することでした。

昨年は初のスチュワードシップレポートを公表し、自ら設定した10の重点分野について詳しく解説するとともに、それらの目標に向けた進捗を測定する方法の概要を示しました。これは、当社組織のESGをめぐる透明性、説明責任、行動に対する私たちのコミットメントにおいて、重要なマイルストーンとなりました。

また、2020年に国連グローバル・コンパクトと国連の責任投資原則に署名するなど、当社はサステナビリティへの道のりをさらに前進しました。国際基準に基づくこれら2つの主要組織には、当社と志を同じくし、持続可能な慣行を事業運営に統合することにコミットするさまざまな組織が名を連ねています。これは、自分たちの価値観を基礎とすることへのコミットメントの一環です。さらに、こうしたパートナーシップは、私たちがサステナビリティとESGにいかに真摯に取り組んでいるかについて、強力なメッセージをお客様に送っています。

私たちのサステナビリティへのコミットメントに関する詳細情報については、当社の2020年スチュワードシップレポートをご参照ください。

パートナー

Thomas E. Berk
Taylor S. Bodman
Suzanne E. Brenner
Valentino Carlotti
G. Scott Clemons
Geoffrey M. Cook
Jean-Marc Crepin
Douglas A. Donahue, Jr.
Dario Galindo
Kathryn C. George
Lorrie L. Gordon
Charles O. Izard
Michael R. Keller
Radford W. Klotz
Susan C. Livingston
Hampton S. Lynch, Jr.
Michael J. McDonald
Jeffrey B. Meskin
永久幸範

Seán Páircéir
Jean-Pierre Paquin
Christopher C. Remondi
William E. Rosensweig
Jeffrey A. Schoenfeld
園部教靖
Kevin W. Stone
W. Carter Sullivan III
Andrew J. F. Tucker
William B. Tyree
Maroa C. Velez
William J. Whelan, Jr.
Richard H. Witmer, Jr.

リミテッド・パートナー

Brian A. Berris
John J. Borland
Timothy J. Connelly
Carl S. Cutler
Anthony T. Enders
Alexander T. Ercklentz
John A. Gehret
Elbridge T. Gerry, Jr.
Kristen F. Giarrusso
Timothy E. Hartch
Ronald J. Hill
Landon Hilliard
Jared S. Keyes
T. Michael Long
Michael W. McConnell
John P. Molner
Donald B. Murphy
John A. Nielsen
Eugene C. Rainis
A. Heaton Robertson III
Lawrence C. Tucker

マネージング・ディレクター

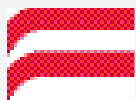
Haluk S. Akdemir
Randall P. Ayer, Jr.
Mark S. Balcom
Daniel Becker
Hugh B. Bolton
Michael A. Boylan
Christian M. Brunet
Hilary M. Capay
Paul A. D'Attansio
Thomas J. Davis
Anthony V. DePalma, Jr.
Manuel Dienhart
Paul Feldman
Joshua M. Fine
Eoin Fitzgerald
Orla Foley
Christopher Gothard
William S. Grant
Daniel J. Greifenkamp
Keith J. Haberlin
Richard D. Ham
Donald M. Hardie
Lewis J. Hart
Matthew P. Heffernan
Joseph E. Hendry, III
Scott R. Hill

Andrew P. Hofer
Neil M. Hohmann
Sarah A. Holmes
Alison K. Hutchinson
William H. Hyder
Jeffrey J. Idler
Lauren C. Kayola
Anita K. Kerr
R. Patrick Kruczek
Bradley M. Langer
Regina K. Lombardi
Jonathan E. Mack
Nichol A. MacManus
Beth V. Maury
Christopher J. McCabe
Gerard McCauley
Michael F. McGovern
Shawn R. McNinch
Sarah O'Donnell
Susan M. O'Donnell
J. Clark O'Donoghue
Alan O'Sullivan
Joseph G. Pennini
Adrienne M. Penta
Ivan A. Pirzada
Elizabeth E. Prickett

Elizabeth Rand
Justin V. Reed
F. Meade Reynolds
John C. Santos, Jr.
Scott F. Schultz
Jeffrey J. Scott
John M. Secor
Brett D. Sovine
Gregory S. Steier
David E. Sternberg
Diane Z. Teed
Jonathan Vickery
Francisco J. Vidal
Daniel Walker
John C. Walsh
Patrick J. Walsh
Seth C. Ward
Philip W. Warner, Jr.
Kevin M. Welch
Steven Werber
Feifei Wu
Hayley A. Xuereb
Richard T. Yeh
Samuel Haihua Zhao



Making an impact for
generations to come.



ニューヨーク 北京 ボストン シャーロット シカゴ ダブリン グランドケイマン 香港 ジャージーシティ
クラクフ ロンドン ルクセンブルク ナッシュビル フィラデルフィア 東京 ウィルミントン チューリッヒ WWW.BBH.COM

免責条項

Brown Brothers Harriman & Co. (「BBH」) の名称は、弊社全体または弊社の各種子会社全般を指す一般的語句として用いる場合があります。当資料は、ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー (BBH&Co.) が提供するサービス等に関する資料として一般的な情報提供を目的として作成したものです。法律、税務、及び投資に関する助言を行うものではなく、証券や金融商品の勧誘や販売を意図するものではありません。法律、税務に関連する措置を講じる際は専門家にご相談下さい。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成されておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料で述べられている見解は事前通知無しで変更される事があります。当資料又は当資料に含まれる情報を、BBH & Co. の書面による事前承諾を得ることなく使用する事や第三者へ配布することは禁止させていただいております。© Brown Brothers Harriman & Co. 2021. All rights reserved.

投資商品については以下にご注意ください。
NOT FDIC INSURED NO BANK GUARANTEE MAY LOSE VALUE